



横浜市立美しが丘中学校

令和 2年3月18日

美中だより

10号 (卒業式特別号)

校長 佐々木 健一

【第42回 卒業証書授与式 式辞】

春風に向かって力強い一歩を踏み出す季節がきました。

美しが丘中学校 第42期、94名の卒業生のみなさん

『卒業おめでとう。』

また、保護者の皆様、お子様のご卒業と9年間の義務教育課程の修了、誠におめでとうございます。この晴れやかな門出を教職員、そして、式場には参列できませんでした在校生一同心よりお祝い申し上げます。本日はご来賓のPTA会長鈴木様、副会長大谷様、保護者のみなさまのご臨席を賜り、令和2年度第42回卒業証書授与式を挙げることは本校にとりましてこの上ない慶びと感じます。心から感謝申し上げます。さて、3年前、小学校を卒業したみなさんはここに集まり、それぞれの思いを持って美中生としての生活をスタートさせました。緊張した表情とおとなしそうな雰囲気、やや袖の長い制服姿など、とても印象に残っています。この1年、感染症の影響を受けて、多くの人の生活に変化がありました。学校は授業体制が変わり、例年行われていた行事の多くが中止、日常のコミュニケーション内容の規制など、変更せざるを得ないことが多くありました。進学をひかえての学習への不安や体調管理、友人関係、部活動への不安やエネルギーを発散させることができないもどかしさも多かったと思います。でも、コロナ禍だったからではなく、コロナ禍だったからこそ、家族や友人の大切さ、歌うことやスポーツで汗を流す時間、一緒に食事をする、語り合う場を私たちはとても欲していることを実感することができました。また、世界中が混乱している中、数々の情報が飛び交いコロコロと判断が変わり誰かへの批判を多く耳にしました。生きていくための知識は、いつでも、どこでも学ぶことが出来ます。いろんな意見を聞き、確かな情報を見極め、自分の中でかみ砕いて判断していけるよう経験と知識を深めていくことは、大切な責任であることも学びました。休校明けの日に登校した君たち。マスクをしていましたが、生き生きとした晴れやかなオーラを放ち、戸惑いながらも高揚している姿に私は感動さえ覚えました。

この3年間を振り返ると多くの出会いと経験がありました。担任の先生との出会い。得意な教科や苦手な教科への取り組みはどうだったでしょうか？テスト結果への期待と落胆は次のステップになりましたか？また、気の合うクラスメートや苦手なクラスメートとの関わりはどうだったでしょうか？日々が新たな課題の連続だったかもしれません。時には他の誰かに憧れ、時には分かり合えないもどかしさに悩んだこともあったと思います。多くの人との関わりから、何度も何度も自分と他人は違うことを学んだはずで、君たちは、他人を通して、自分はどう生きていきたいか？どんな人と生きていきたいか？考え方の違いをどう受け止めていくか大きな課題に取り組んできました。また、共に時間を過ごすことで、共感し合えることの喜びが測りしれない宝であることも学んだはずで、美中での生活は、美中の決まりごとの中で生活することでした。当然、不自由さを感じることもあったと思います。面倒くさいと思うことや、「何で？」と思うこともあったはずで、でも、その決まりごとのある不自由さは君たちが美中に守られていた証でもあったと信じています。君たちは9年間の義務教育課程を修了して大きな一歩を踏み出す時が来ました。今までとは少し違う、自由と責任をもった一歩になります。今、4月から始まる新しい生活に向けて、新たな希望と新たな緊張感を感じていると思います。当然、3年前にこの場で感じていた不安は君たちにはもうありません。

この先、不安になった時は立ち止まって振り返って欲しいです。多くの人との関わりと日常を積み重ねた経験が確実にみなさんの進む道を照らしていくはずで。

この3年間、期待通りではなかった事もあるかもしれませんが。叶わなかった希望もあるかもしれません。だからこそ、思い通りにいかなかった現実を通して、自分が大切にしていきたいことをこれから先にもっと深めていって欲しいと思います。この先もたくさんの学びとその機会が待っています。日々を大切に、楽しんで欲しいです。

美しが丘中学校は 努力・協力・人間力を教育目標に掲げています。時には努力できないときもあり、協力したくない、できない瞬間があったとしても忘れないで欲しいです。そんなときも含めた時間すべてが、人間力を育む機会となると考えています。是非、美中の生徒であったことを誇りに思って巣立ってほしいと思います。美しが丘中学校に在籍していたのだと。

最後になりますが、ご列席の保護者の皆様、改めてお子様のご卒業を心からお祝い申し上げます。これまでの間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、お子様の成長を温かく見守っていただいたことを感謝申し上げます。振り返ってみますと、時には体調の悪い時、機嫌の悪い時、沈んだ様子の時、日夜心配なことが多々あったことと思います。特に、この1年は、先の見えない状況への不安や集団の中に送り出す心配で、長い1日を過ごしたことと思います。子どもの成長を見守るということは、本当に簡単なことではありません。それだけに、本日の晴れの姿を見て喜びも格別であると存じます。

美しが丘中学校 第42回目の卒業生として『いま巣立つ94名の夢を追うみなさん』どうか健康に気を付けてそして活躍を祈念し学校長のことばといたします。

令和3年3月11日



### 【令和2年度 第二卒業式 校長のことば】

今日、美しが丘中学校 第42回 94名 共に巣立ちの時を迎えました。

今、ここにいるのも次へ続くための時間です。これから待っている新しい環境での出会いや経験を通して、自分の得意なこと苦手なこと楽しめることを貪欲に探して欲しいと思います。今以上に大切にしてください。『卒業生のみなさん、本当に卒業おめでとう。』

保護者様、改めてお子様のご卒業を心からお祝い申し上げます。3年間、いえ15年間を振り返ってみますと、体調の悪い時、機嫌の悪い時、沈んだ様子の時、日夜心配なことが多々あったことと思います。ご家族のみなさんが温かく支えてくださったおかげで、今日、この日を迎えることができました。本当にありがとうございました。心より皆様の健康と活躍を祈念して、校長のことばとします。

令和3年3月11日